

2023年3月31日

区内ものづくり産業の持続的発展に貢献するまちづくりを推進 「旧羽田旭小学校敷地活用事業」大田区と事業契約を締結

- 「つくと暮らすを一体に。」をコンセプトに、東京都大田区の製造業の活性化と豊かな生活環境を実現する計画
- 次の時代の担い手となる人材や国内外の先端人材が集う拠点を目指す
- （仮称）コミュニティセンター羽田旭は 2026 年度、産業支援施設は 2027 年度の完成予定



ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 作尾徹也）は、3月29日（水）に東京都大田区（区長 松原忠義）と、旧羽田旭小学校敷地活用事業に関する事業契約を締結しました。

大田区では、廃校した旧羽田旭小学校の跡地について、「製造業の操業環境の確保」「区民サービスの向上・防災機能の向上」「財政負担の平準化及び整備・維持管理費の削減」を目的に、公民連携手法を活用した敷地活用事業の検討を進めるなか、今年度に整備・運営等事業者選定プロポーザルを実施しました。

ミサワホームは、協力企業の株式会社松村組、株式会社類設計室、株式会社トヨタエンタプライズ、東急住宅リース株式会社、プライム ライフ テクノロジーズ株式会社とともに同プロポーザルに参加。「つくと暮らすを一体に。」をコンセプトに、区内産業の持続的発展・取引拡大や地域コミュニティの活性化、防災拠点機能の強化につながる提案などを行った結果、これらの提案が評価され、このたび同事業の整備・運営等を行う事業者として事業契約を締結しました。

当事業では、区内産業の持続的発展・取引拡大の拠点となる「イノベーションファクトリー」と、町工場の建替促進等に活用する「リビングスタジオ」、そして体育室や集会室、コミュニケーションスペース等を備えた地域交流拠点「（仮称）コミュニティセンター羽田旭」を整備する計画です。事業全体としては 2027 年度の完成を予定しています。ミサワホームは協力企業とともに、当事業で整備する施設が次の時代の担い手となる人材や国内外の先端人材が集う拠点となることによって、同区の特徴であるものづくり産業が持続的に発展し、まち全体の活性化につながるよう、プロジェクトを進めていきます。

■事業および計画の概要（予定）

製造業の操業環境の確保と区民サービス・防災機能の向上、財政負担の平準化及び整備・維持管理費の削減を目的として、旧羽田旭小学校跡地に、公民連携により産業支援施設（イノベーションファクトリー、リビングスタジオ）と公共施設を整備。大田区の製造業の持続的発展と豊かな生活環境の実現を目指します。



平面図イメージ

- ・事業名：旧羽田旭小学校敷地活用事業（公民連携事業）
- ・建設地：東京都大田区羽田旭町 7-1（敷地面積 8,003.95 m²）
- ・交通：京浜急行電鉄空港線「穴守稻荷」駅より徒歩約 6 分
- ・用途地域：工業地域（建蔽率 60%/容積率 200%）
- ・事業手法：定期借地権方式（一般定期借地権、(仮称) コミュニティセンター羽田旭は大田区が 50 年賃借）
- ・事業期間：50 年間に加え、設計・施工に要する相当の期間
- ・施設概要：イノベーションファクトリー（8 階建、約 8,800 m²、工場アパート 64 区画）
リビングスタジオ（14 階建、約 6,000 m²、共同住宅 101 戸、ワークカフェなど）
(仮称) コミュニティセンター羽田旭（3 階建、約 1,500 m²、体育室や集会室など）
- ・設計施工：2023 年度～2027 年度
- ・完成予定：2026 年度…(仮称) コミュニティセンター羽田旭
2027 年度…産業支援施設
- ・イメージパースや CG、計画概要は当リリース発表時点のものであり、変更になる場合があります

以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 阿部正成 麻生和広
TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838 / E-mail : koho@home.misawa.co.jp